

荒川新聞

メーデー特集号



今年も日比谷野外音楽堂にて第83回日比谷メーデーが開催されました。当日は宣伝カーの飾りつけ等、各自の役割分担

をおこない、地連実行委員の仲間と準備を進めてきました。式典が始まると、会場内では労働組合の仲間が

任長	任部	掃合部
委員	宣伝	清組支
行集	京働川	
東労荒		
2012年5月15日 第8号		

結集し、労働者が働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守る闘いに決起しました。

昨年、東日本大震災発生から1年が経過し、この地震と津波により多くの死者・行方不明者を出しました。また、東京電力福島第一原発は水素爆発を引き起こし、放射能をまき散らし、さらには大量の高濃度の汚染水が海洋に漏れ出しました。

私たちは東日本大震災の復興に連帯するとともに、全ての原発を廃炉にすることを強く訴えていかなければなりません。

国内の情勢をみれば、雇用状況は低く、非正規労働者の割合が増えている実態です。ワーキングプアが拡大している状況の中で、貧困と格差・環境破壊・企業利益優先の社会に反対し、私たちは労働条件の改善を働く



者の団結で強く訴えるとともに変えていかなければなりません。

歴史と伝統のある「働く者の祭典」メーデーを「闘いの広場」と位置づけ労働者の幅広い結集とより一層の団結で共に闘い続けなければなりません。

日比谷メーデーに参加して

今回、支部の仲間を代表してメーデーに参加させていただきました。例

年ならば支部の執行委員全員が参加するのですが、私たちの支部では新規採用が平成13年以降なく欠員が続いており、今回のメーデーでは残念ながら執行委員全員の参加はなりませんでした。

毎年、私たちの労働条件は良くならず、現状維持どころか年々悪くなる一方です。

メーデーに参加して、私たちの生活を守るためにこれから、より一層頑



張らなくては！、と強く思いました。

【佐藤 修一】

まるで夏のような陽気の中、支部の仲間たちとメーデーに参加しました

参加者のプラカードや横断幕に書かれたメッセージは、原発に反対するもの、被災者の支援が進んでないことを訴えたもの、非正規労働者や外国人労働者の問題についてなどなど、正に今の日本の社会が抱えた問題を目の当たりにするようでした。

私たち一人ひとりの力は小さいですが、メーデーに参加したみんなと団結して頑張ろう！、と思いました

【野口 直樹】